



室っ子だより

～ 私たちの学校を私たちが創る ～

文責 校長

「私たちの学校を私たちが創る」 とともに、すすんで、未来を拓こう

8月26日、前期後半がスタートしました。久しぶりに学校に子どもたちの声が戻ってきました。開始日にこにこ集会では、前期後半の学校生活で大切にしてほしいことを3つ話しました。

① 全員参加の授業づくり

一人一人が自分の考えをもち、友達の考えを聴き、考えをつなぎながら学ぶ授業を目指してほしい。「どうしてそう考えたの?」「〇〇さんの考えと似ているよ」「私は少し違って……」など、子どもたちが互いの考えを大切にしながら学ぶ姿を増やしてほしい。

② 持ち味を発揮する特別活動の充実

係活動、委員会活動、クラブ活動、学校行事など、学校には一人一人が活躍できる場があります。「自分にはこんなことができる」「こんなことをやってみたい」という思いを大切に、それぞれの持ち味を発揮できる活動を充実させてほしい。

③ 「ありがとう」を増やそう

前期後半は、学校の中に「ありがとう」をもっと増やしてほしい。

助けてもらったとき、教えてもらったとき、友達が頑張っていることに気付いたとき——「ありがとう」と伝えることで、人と人とのつながりは、もっと温かくなります。「ありがとう」と言える人、そして「ありがとう」と言ってもらえる行動ができる人を、みんなで目指してほしい。

※ 本校は、11月6日大津町学力充実・向上の公開授業研究会、11月20日熊本県算数教育研究会菊池大会開催予定です。町内・外の多くの先生方に子どもたちの姿を参観いただきます。日々の取組を踏まえて、学んだ成果を十分発揮してほしいと期待しています。

地震への備えと心のケア

7月28日に発生した地震により、被害を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。また、この地震により尊い命を失われた方々のご冥福を、心よりお祈り申し上げます。

現在も余震が続いております。学校では、児童の安全を第一に考え、施設の安全確認や避難訓練、心のケア等に取り組みながら、安心して学校生活を送ることができるよう努めてまいります。

8月24日午後、全職員で震度5以上の地震発生を想定した学校対応の事前研修・訓練を実施しました。避難や引渡し、職員間の連携について確認するとともに、地震を経験した子どもたちの心のケアについても改めて研修を行いました。

9月2日(水)には、地震避難訓練と心のケアに関する取組を実施します。災害時に自分の命を守る行動を身に付けるとともに、一人一人の心の状態にも目を向け、安心して学校生活を送ることができるよう支えていきます。

